



注：こんな見た目の研究者は（たぶん）いません
昆虫展、何かがおかしい

特別展

マニアックな
研究者による
マニアックな
昆虫展

Special Exhibition
INSECTS

昆虫 MANIAC

2024年
7月13日(土)～10月14日(月・祝)

国立科学博物館 [東京・上野公園]

主催：国立科学博物館、読売新聞社、フジテレビジョン 協賛：DNP大日本印刷

※本展は「昆虫」以外の「節足動物」の展示も含まれます。 ※会期等は変更になる場合がございます。

<https://www.konchuten.jp>

ようこそ MANIACな ムシの世界へ!

「MANIAC」とは「みんなが知っている」の、ほんの少し先に進んだところから広がる世界です。

多様性の扉を
開けてみよう!



巨大
模型

ウスバキチョウ

大迫力! マニアックなムシの
体長約2mの
巨大模型が登場!

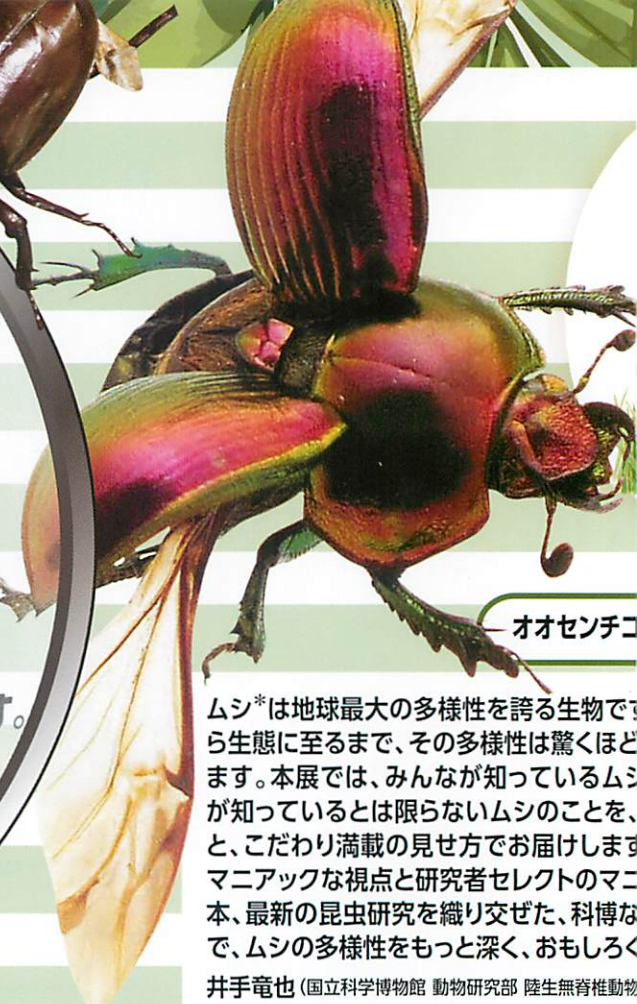
ギンヤンマのヤゴ

公式サポーター
アンガールズ



巨大
模型

©feathercollector / PIXTA

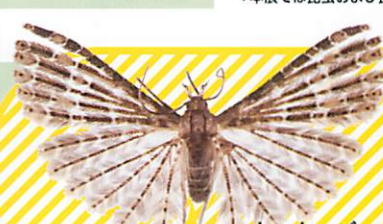


オオセンチコ

ムシ*は地球最大の多様性を誇る生物です。生態に至るまで、その多様性は驚くほど多岐にわたります。本展では、みんなが知っているムシが知っているとは限らないムシのことを、と、こだわり満載の見せ方でお届けします。マニアックな視点と研究者セレクトのマンガ、本、最新の昆虫研究を織り交ぜた、科博ならではの、ムシの多様性をもっと深く、おもしろく

井手竜也 (国立科学博物館 動物研究部 陸生無脊椎動物)

*本展では昆虫および昆虫をはじめとする陸生の節足動物をムシとして



ヤマトニジュウシトリバ
それぞれのハネが6枚にわか
れていて、24枚の鳥のハネの
ような不思議なたち。



チョウの
扉

ようこそチョウ・ガ・イモムシ・
ケムシワールドへ!

いろいろなチョウとガのなまを「昼と夜」などのキーワードをもとに紹介します。高い山のチョウとガ、冬に出現するガなども出てきます。イモムシ、ケムシといったチョウやガの幼虫の魅力も大きく取り上げます。



マンマルコガネの一種
マンマルコガネ類(アツバコガ
ネ)のように体を折り曲
がることができる。



アカ
大型の
を飲み

オオセンチコガネは “うんこ虫” 絵本とのコラボも!



「うんこ虫を追え」(福音館書店刊)より
Illustrations ©Hiroshi Tateno 2022

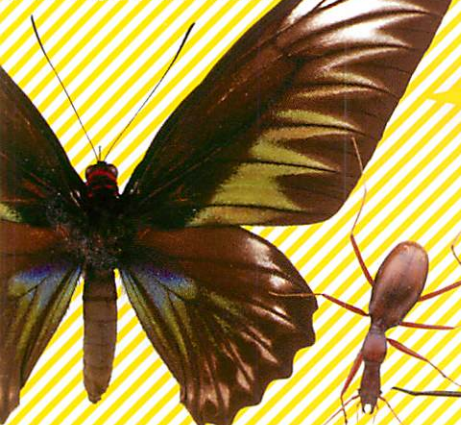
巨大
模型

。体のつくりか
変化に富んでい
のこと、みんな
ディープな解説
。研究者による
アックな昆虫標
らではの昆虫展
追及します。

研究グループ(研究員)
扱います。

トリバネアゲハ

アゲハチョウ。オスは川べりなどに集団で水
来るが、メスの姿を見つけるのは難しい。



オキナワアシナガメクラチビゴミムシ
体長は約6-7mm。日本に生息するメク
ラチビゴミムシの中で最大級の大きさ。

カブトムシの 扉

甲虫って何だ?

カブトムシのなかま、つまり甲虫は全昆虫の約33%を占める大
きなグループで、大きな種も、小さな種も、変わった種も、あま
り変わっていない種もある、とにかく多様なグループです。この
展覧会ではとくに、これまであまり知られていない面白い甲虫
の種や、甲虫のこまかいつくりについてもくわしく紹介します。

カブトムシのギナンドロモルフ
ツノがないオス?それともメス?

トンボの交尾は
ハート型



ハナカマキリ
幼虫が花に擬態することで有名
はカマキリ。成虫の姿は…?

トンボの 扉

空を飛び回る不完全変態昆虫

変態によって水中から大空へと生活の場を移す
空飛ぶトンボ。さらに、かじるバッタや隠れるナ
ナフシ、攻めるカマキリ、うなるセミなど、不完
全変態昆虫からムシの世界をのぞきます。

ハチの 扉

まだ見ぬハチたちが待っている!

ハチを通して、ときに一方的でときに相互的な、ムシと他
の生物との関わり合いに注目します。スズメバチやミツ
バチだけじゃない、不思議な姿をしたハチやアリが登場。
ハチと同じ膜状の翅をもつ、ハエの多様性も必見です!

ヒトエグモ

体が異常ほどに扁平。
夜間に徘徊して獲物を探す。

※谷川明男氏提供



リュウジンオオムカデ

体長が20cm以上になる
日本最大種。

※塚本将氏提供

巨大
模型

エゾオナガバチ

※喜多英人氏提供



ゴマユバチ
あやつるムシ!?「ゴマユバチによる奇玉操作」

パンダアリ

パンダのような
アリのようなハチ。
メスはハネがない。

シタバチ

香りを集めるハチ
「シタバチがあつ
まる香りの体験」

クモの 扉

昆虫以外のムシたちこそ
まさにマニアック!

クモを中心にムカデ、ヤスデ、サソリ、
タニなどさまざまな分類群が対象で
す。見た目が面白い、変わった生態を
持つ、国内最大といった種や、滅多に見
られない貴重な種も紹介します。

オオナガトゲグモ

巨大
模型



ひろし&ピョン吉と一緒に昆虫展を見に行こう!

©株式会社
ど根性カンパニー
/KDDI-DLE

この夏、“科博の昆虫展”はMANIAC!

公式サポーター

アンガールズ (山根良顕・田中卓志)



田中:「ぼくたちが昆虫の体形に似ているから」お話をいただいたのかと思いましたが、「山根が新種の昆虫を発見したから」ということで「番組のロケには行くもんだね」と思いました。

山根:先生が普段探さない場所をたまたま探して、見つけた昆虫がハネカクシの新種だったという事で…。見つけた時は、あ、虫がいるんだなと思っただんですが、だんだん大事になってきて…。

田中:それを見て新種ってわかるってまさに先生がマニアックだね!

山根:研究している人もマニアックだね。

田中:今回はその山根が発見した新種の昆虫や、ほかの昆虫展にはいないようなマニアックな昆虫がたくさん集まります。そしてマニアックな研究者にもフィーチャーするところも見どころです。せっかく体形も昆虫に似ているんで、この体形も生かして公式サポーターとして活動していきたいです!

山根:特別展「昆虫 MANIAC」是非みなさん、見に来て下さい〜!

発見した
新種の標本も展示!



プロフィール:アンガールズ/山根良顕(やまね よしあき)・田中卓志(たなか たかし)
2000年にアンガールズを結成。以降、バラエティ番組を中心に活躍中!

山根さんが新種発見!「モトナリヒメコバナナガハネカクシ」(通称「モトナリ」)



音声ガイド
ナビゲーター

江口拓也 (声優)

プロフィール:江口拓也(えぐちたくや)TVアニメ「SPY×FAMILY」(ロイド・フォージャー役)のほか、数々の人気作に出演。2023年第17回声優アワードで主演賞とMV5賞(Most Valuable Seiyu)をW受賞。声優の他、アーティストとして音楽活動も行っている。

声優の江口拓也さんが、皆さんを「ムシ」たちのマニアックな世界へご案内。ときに個性豊かな「ムシ」のキャラクターが登場する事も? また音声ガイドには本展を監修する研究者や、アンガールズも登場します!

貸出料金(税込)※お一人様一台 600円 会場入口にて、専用ガイド機をレンタルできます。

アプリ配信版「聴く美術」(iOS/Android)
販売価格(税込):650円 ※期間限定配信

アプリ「聴く美術」
ダウンロードはこちら



キャラクターコラボ



©株式会社ど根性カンパニー/KDDI-DLE

ど根性ガエル やねん

ショートコントアニメ「ど根性ガエルやねん」が「昆虫 MANIAC」に乱入?!

あの「ど根性ガエル」とYouTubeアニメで人気の「そろ谷」がコラボ! シャツに張り付いてしまった平面ガエルの「ピョン吉」と「ひろし」のポケとツッコミの応酬が昆虫展でも繰り広げられます!

特設ショップ

会場内特設ショップには、展覧会公式図録やここでしか買えないオリジナルグッズもたくさん!



ぬいぐるみ:
ロージメブルモス

公式図録も
MANIAC!



マスコット:
オオナガトグモ



マスコット:ウスバキチョウ

アクセス:国立科学博物館(東京・上野公園)
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
・JR「上野」駅(公園口)から徒歩5分
・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅(7番出口)から徒歩10分
・京成線「京成上野」駅(正面口)から徒歩10分
※敷地内に駐車場および駐輪場がございます



開館時間:9時~17時(入場は16時30分まで)
※ただし毎週土曜日及び8月11日(日)~15日(木)は19時まで開館延長(入場は18時30分まで)
・休館日:7月16日(火)、9月2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)、30日(月)

入場料(税込):※公式サイトより日時指定予約をお勧めします
一般・大学生 2,100円、小・中・高校生 600円

※未就学児は無料です。
※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※学生証、各種証明書をお持ちの方は、入場の際にご提示ください。各チケットの詳細は公式サイトをご確認ください。

<注意事項>※本展は事前に公式サイトよりご入場の日時指定予約をお勧めします。※当日、博物館で販売する当日券での入場枠も設けておりますが、会場内の混雑等により、ご入場をお待ちいただく場合がございます。入場枠が完了した際はご入場いただけません。※本展を観覧された方は、同日に限り常設展示(地球館・日本館)もご覧いただけますが、常設展示の開館時間内に限ります。※土、日曜日、祝日およびお盆期間、会期末などにご来場を予定されているお客様は、早めに日時指定予約をしていただく事をお勧めします。

監修:国立科学博物館 動物研究部 陸生無脊椎動物研究グループ/井手竜也[ハチ類]/野村周平[コウチュウ類]/神保宇嗣[チョウ・ガ類]/清 拓哉[トンボ類]/奥村賢一[クモ類]



くわしくは公式サイトで
展覧会公式サイト:<https://www.konchuten.jp>
公式X(旧Twitter):@Konchu_MANIAC

お問い合わせ:050-5541-8600(ハローダイヤル)、03-5814-9898(FAX)



公式サイト